



**GALLERY HEPTAGON**  
HEPTAGON WORKS GALLERY and LIVING

Press Release  
2020.11/9

# 集治千晶 個展 Iconic Doll -Prayer-

2020.11/28 sat- 12/6 sun 12/3 木曜日休廊

12:00-18:00



このたび、ギャラリー・ヘプタゴンでは集治千晶 個展 Iconic Doll -Prayer- を開催いたします。

集治千晶は銅版画制作を主として作品を発表してきましたが、近年は水彩画からガラス絵、シルクスクリーン、手芸や立体造形の手法も取り入れたミクストメディアにも取り組み、自らの表現の可能性を追求しています。

生と死の間に作家自身が感じるキッチュな装飾性、自らの女性性を意識して見えるカワイイ、キラキラした華やいだものたちを「それ自体に意味は無い」と俯瞰してとらえる独特な世界観。

作家自身がコロナ禍のなかで自らの今後をどうあるべきかと考える日々の中、自分にとって表現は「祈る」ことに他ならないとあらためて自覚したことから展覧会のタイトルは Iconic Doll-Prayer- といたしました。

東京・不忍画廊で今年発表した新作を中心に、これまでの軌跡と今後の展開の方向性を探る道しるべとなる作品の数々を展示いたします。この機会にぜひ高覧くださいませ。

## 集治千晶 個展 Iconic Doll -Prayer-

### 【作家ステートメント】

この状況の中で思うことはたくさんある。  
まとまらない想いの中で揺れ動く毎日。  
絶望ではなく希望を胸に。  
生きることは「祈り」だといつも思う。

私はこの歳まで生きた女性であるという事。  
その目を通して見える世界は、ラインストーンやスパンコールのように  
キラキラと華やいでいるかのようだ、という事。

そして、それ自体に意味は無いという事。

華やぎながら虚無に近いもの。そして、有っても無くても良いもの。  
生きたい、という衝動と、死に近い意識の揺らぎの中に  
私はとてもキッチュで装飾的な世界を感じる。

私が一貫して描きたいものはその中にある。



Enigmatic Flower (部分)

銅版画 (エッチング、ソフトグラウンド、  
アクアチント、スピットバイト)  
2017

# 集治千晶 個展 Iconic Doll -Prayer-



フラワーベース  
530×455mm  
水彩、他  
2020

## 【集治千晶 PROFILE】

- 1973 京都に生まれる  
1996 京都精華大学美術学部造形学科版画専攻卒業  
1998 京都市立芸術大学大学院美術研究科  
絵画専攻版画修了  
2005 京都市芸術新人賞受賞

### 個展

- 不忍画廊 (2017,2018, 2020・東京)、  
シロタ画廊 (2004,2006,2007,2009,2013・東京)、  
山木美術 (2004,2006,2008,2010,2013・大阪)、  
乙画廊 (2016・大阪)、番画廊 (1998・大阪)、  
ギャラリー・しらみず美術 (2000,2001,2002,2003・東京)、  
ギャラリー・ヒルゲート (2014・京都)、  
アートライフ・みつはし (2000,2002,2004,2007・京都)、  
高島屋京都店 (2017・京都)、  
ギャラリートレンド (2004,2007,2008,2013・愛媛)、  
由美画廊 (2005・静岡)、Za Gallery (2002・京都)、  
信濃橋画廊 apron (2002・大阪)、ギャラリー・八十川 (2003・兵庫)、  
石田大成社ホール (2003・京都)、  
The Exit Gallery (1998・モンタナ州立大学、アメリカ)  
珍画廊 (2009・韓国) 他

### 主なグループ展

- 1997 第49回京展《市長賞》(京都市美術館 50回《毎日放送賞》、51回《市長賞》54回《市長賞》、2006《市長賞》・《コレクション賞》)、第22回全国大学版画展《買上賞》(町田市立国際版画美術館)、第8回、第9回中華民国国際版画素描ビエンナーレ (台北市立美術館/台北)  
1998 第4回さっぽろ国際現代版画ビエンナーレ スポンサー賞《富士通賞》(北海道立近代美術館)  
1999 第4回、第6回高知国際版画トリエンナーレ (いの町紙の博物館/高知)  
2000 クラコウ国際版画トリエンナーレ (ポーランド)  
2001 京都府美術工芸新鋭選抜展 (京都文化博物館)  
賞揚日本一過去と現在展 (ロイヤル・アルバート美術館/イギリス)  
メード・イン・ジャパン展 (ブリストル市立美術館/イギリス)  
日本・ブルガリア現代版画展 (ブルガリア国立ギャラリー)  
2002 Contemporary Japanese Graphic Art(State Gallery Banska Bystrica/ スロバキア)  
2003 池田満寿夫記念芸術賞《佳作》(洋供アートホール/東京、大阪現代美術センター)

### グループ展続き

- 2002 Contemporary Japanese Graphic Art(State Gallery Banska Bystrica/ スロバキア)  
2003 池田満寿夫記念芸術賞《佳作》(洋供アートホール/東京、大阪現代美術センター)  
2004 版画の力展 (京都市文化博物館)  
2005 日本・メキシコ現代版画交流展 小品展 (グアナファト/メキシコ)、Sipa <日韓現代版画・写真アートフェア> (Hangaram Museum/ 韓国)  
2007 版という距離 (京都芸術センターギャラリー)  
2008 アジア国際版画展 (台湾)  
2010 花から花へ 交換のかたち (京都市美術館)  
2012 Redefining the Multiple:Thirteen Japanese Print-makers (Ewing Gallery in University of Tennessee)  
2013 市展・京展物語—みんなここから羽ばたいた— (京都市美術館)、收藏作品展 信濃橋画廊コレクション (兵庫県立美術館)、静かな詩情 銅版画の色と光 (町田市立国際版画美術館)  
2014 浜松市美術館版画大賞展《静岡放送賞》(浜松市美術館) 春消息—日中版画作品展 (皇居公園内 藝術2号館 ギャラリー/中国)  
2016 第2回上海半島美術館日本版画招待展  
2017 秋彩乱舞 池田満寿夫 × 集治千晶展 (パークホテル東京)、吾輩の猫展 (佐藤美術館/東京)  
2019 京都市立美術館所蔵作品展「花鳥風月」(美術館「えき」KYOTO)  
2020 ビクトリーブーケ展 (佐藤美術館/東京)

### パブリックコレクション

- 町田市立国際版画美術館 (東京)、佐藤美術館 (東京)、京都市セラ美術館、京都銀行、京都市立芸術大学芸術資料館、水戸町立現代版画センター (青森)、須坂版画美術館 (長野)、兵庫県立美術館 (兵庫)、浜松市美術館 (静岡)、ソウル市立美術館 (韓国)、上海半島美術館 (中国)、ブルガリア国立ギャラリー、State Gallery Banska Bystrica (スロバキア)、コロラド・カレッジ (アメリカ)、Ewing Gallery in University of Tennessee (アメリカ)、Bates College Museum of Art (アメリカ)、Karamazoo Art Institute (アメリカ)